

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2000-75768 (P2000-75768A)
 【公開日】平成 12 年 3 月 14 日 (2000.3.14)
 【出願番号】特願 平 10-259196
 【国際特許分類第 7 版】
 G 0 3 G 21/18
 G 0 3 G 15/02
 【F I】
 G 0 3 G 15/00 5 5 6
 G 0 3 G 15/02 1 0 3

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 8 月 26 日 (2005.8.26)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 少なくとも電子写真感光体と、該電子写真感光体を帯電する帯電手段とを有し、画像形成装置に着脱可能なプロセスカートリッジにおいて、

前記帯電手段は帯電ローラであり、該帯電ローラに対して接触当接するクリーニング部材と、該クリーニング部材を支持し、前記帯電ローラの長手方向に沿って往復移動可能な移動部材とを有し、

前記クリーニング部材は、前記帯電ローラの長手方向に対して直交する方向に伸びる繊維部を含む平面状の導電性ブラシであり、前記繊維部は繊維部と、ブラシ部とを含み、前記クリーニング部材は前記繊維部を前記移動部材に固定し、前記ブラシ部を前記帯電ローラに順方向に当接し、

前記クリーニング部材は前記帯電ローラの回転に連動してその長手方向に連続して往復移動することを特徴とするプロセスカートリッジ。

【請求項 2】 前記導電性ブラシの繊維部の両端が繊維の伸びる方向に対して斜めに切断されている請求項 1 のプロセスカートリッジ。

【請求項 3】 前記導電性ブラシがアースから浮遊している請求項 1 または 2 のプロセスカートリッジ。

【請求項 4】 前記クリーニング部材の前記帯電ローラに対する長手方向の移動範囲は前記帯電ローラに含まれる金属製芯金の露出部よりも内側である請求項 1、2、または 3 のプロセスカートリッジ。

【請求項 5】 前記移動部材は金属製であり、前記クリーニング部材は絶縁性部材を介して前記移動部材に取り付けられる請求項 1 から 4 のいずれかのプロセスカートリッジ。

【請求項 6】 少なくとも電子写真感光体と、該電子写真感光体を帯電する帯電手段とを有するプロセスカートリッジを着脱可能に装着する画像形成装置において、

前記帯電手段は帯電ローラであり、該帯電ローラに対して接触当接するクリーニング部材と、該クリーニング部材を支持し、前記帯電ローラの長手方向に沿って往復移動可能な移動部材とを有し、

前記クリーニング部材は、前記帯電ローラの長手方向に対して直交する方向に伸びる繊維部を含む平面状の導電性ブラシであり、前記繊維部は繊維部と、ブラシ部とを含み、前記

クリーニング部材は前記繊維部を前記移動部材に固定し、前記ブラシ部を前記帯電ローラに順方向に当接し、

前記クリーニング部材は前記帯電ローラの回転に連動してその長手方向に連続して往復移動することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 7】 前記導電性ブラシの繊維部の両端が繊維の伸びる方向に対して斜めに切断されている請求項 6 の画像形成装置。

【請求項 8】 前記導電性ブラシがアースから浮遊している請求項 6 または 7 の画像形成装置。

【請求項 9】 前記クリーニング部材の前記帯電ローラに対する長手方向の移動範囲は前記帯電ローラに含まれる金属芯金の露出部よりも内側である請求項 6、7、または 8 の画像形成装置。

【請求項 10】 前記移動部材は金属製であり、前記クリーニング部材は絶縁性部材を介して前記移動部材に取り付けられる請求項 6 から 9 のいずれかの画像形成装置。

【請求項 11】 画像形成装置の帯電器において、前記帯電ローラと、該帯電ローラに対して接触当接するクリーニング部材と、該クリーニング部材を支持し、前記帯電ローラの長手方向に沿って往復移動可能な移動部材とを有し、

前記クリーニング部材は、前記帯電ローラの長手方向に対して直交する方向に伸びる繊維部を含む平面状の導電性ブラシであり、前記繊維部は繊維部と、ブラシ部とを含み、前記クリーニング部材は前記繊維部を前記移動部材に固定し、前記ブラシ部を前記帯電ローラに順方向に当接し、

前記クリーニング部材は前記帯電ローラの回転に連動して長手方向に連続して往復移動することを特徴とする帯電器。

【請求項 12】 前記導電性ブラシの繊維部の両端が繊維の伸びる方向に対して斜めに切断されている請求項 11 の帯電器。

【請求項 13】 前記導電性ブラシがアースから浮遊している請求項 11 または 12 の帯電器。

【請求項 14】 前記クリーニング部材の前記帯電ローラに対する長手方向の移動範囲は前記帯電ローラに含まれる金属芯金の露出部よりも内側である請求項 11、12、または 13 の帯電器。

【請求項 15】 前記移動部材は金属製であり、前記クリーニング部材は絶縁性部材を介して前記移動部材に取り付けられる請求項 11 から 14 のいずれかの帯電器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【課題を解決するための手段】

上記目的は本発明に係るプロセスカートリッジ、画像形成装置および帯電器にて達成される。要約すれば、本発明は、少なくとも電子写真感光体と、該電子写真感光体を帯電する帯電手段とを有し、画像形成装置に着脱可能なプロセスカートリッジにおいて、

前記帯電手段は帯電ローラであり、該帯電ローラに対して接触当接するクリーニング部材と、該クリーニング部材を支持し、前記帯電ローラの長手方向に沿って往復移動可能な移動部材とを有し、

前記クリーニング部材は、前記帯電ローラの長手方向に対して直交する方向に伸びる繊維部を含む平面状の導電性ブラシであり、前記繊維部は繊維部と、ブラシ部とを含み、前記クリーニング部材は前記繊維部を前記移動部材に固定し、前記ブラシ部を前記帯電ローラに順方向に当接し、

前記クリーニング部材は前記帯電ローラの回転に連動してその長手方向に連続して往復移動することを特徴とするプロセスカートリッジである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明による他の態様によれば、少なくとも電子写真感光体と、該電子写真感光体を帯電する帯電手段とを有するプロセスカートリッジを着脱可能に装着する画像形成装置において、

前記帯電手段は帯電ローラであり、該帯電ローラに対して接触当接するクリーニング部材と、該クリーニング部材を支持し、前記帯電ローラの長手方向に沿って往復移動可能な移動部材とを有し、

前記クリーニング部材は、前記帯電ローラの長手方向に対して直交する方向に伸びる繊維部を含む平面状の導電性ブラシであり、前記繊維部は繊維部と、ブラシ部とを含み、前記クリーニング部材は前記繊維部を前記移動部材に固定し、前記ブラシ部を前記帯電ローラに順方向に当接し、

前記クリーニング部材は前記帯電ローラの回転に連動してその長手方向に連続して往復移動することを特徴とする画像形成装置が提供される。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

また、本発明による他の態様によれば、画像形成装置の帯電器において、前記帯電ローラと、該帯電ローラに対して接触当接するクリーニング部材と、該クリーニング部材を支持し、前記帯電ローラの長手方向に沿って往復移動可能な移動部材とを有し、

前記クリーニング部材は、前記帯電ローラの長手方向に対して直交する方向に伸びる繊維部を含む平面状の導電性ブラシであり、前記繊維部は繊維部と、ブラシ部とを含み、前記クリーニング部材は前記繊維部を前記移動部材に固定し、前記ブラシ部を前記帯電ローラに順方向に当接し、

前記クリーニング部材は前記帯電ローラの回転に連動して長手方向に連続して往復移動することを特徴とする帯電器が提供される。